

## 令和8年度 教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

## 記

## 1 教育目標

## (1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調に、インクルーシブ教育の理念を正面に据え、心身共に健康で創造性に富み調和のとれた子を育成するために、社会の一員として主体的に課題に対峙、思考し、協働して未来を創造する資質・能力を育み、誰もが楽しく、居心地よく、誰一人取り残さない「垣根のない学校」を目指す。

- ◎ よく考える子 自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く子
- 思いやりのある子 認知機能を高め、自分も他の人も尊重し、敬意をもって大切にできる心豊かな子
- 健康な子 基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身共に健康で活力に満ちた子
- すすんで働く子 未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出し、協働して未来を創造する子

## (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

## ア 『よく考える子』（確かな学力の定着）

- (ア) 主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図る。
- (イ) 実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。
- (ウ) 自ら考え自らの言葉で表現し、対話や協働を通じて納得解を生み出す探究力を育成する。

## イ 『思いやりのある子』（豊かな心の醸成）

- (ア) 多様な価値観を基に、個性を生かし、相互の信頼関係を深める中で自己有用感を高める。
- (イ) 認知機能を高め、感情統制、対人スキルを養い、自他共に敬意をもって関係する力を付ける。
- (ウ) 自他を大切にし、共によりよく生きるために、児童の内面に根ざした道徳性を育成する。

## ウ 『健康な子』（健やかな体の育成）

- (ア) 一人に一つの命を自覚し、心身の健康、幸福感とともに、全ての人の命を守る意識と行動力を育成する。
- (イ) 基礎的な体力の向上と運動習慣、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。
- (ウ) 心と体の関連性を理解し、様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力を育てる。

## エ 『すすんで働く子』（輝く未来に向かって）

- (ア) 主体的・対話的で深い学びの基盤としての言語能力、未知の課題に向き合う思索力を養う。
- (イ) 論理的に思考し、社会の変化に柔軟に対応する情報活用能力、新たな解を創造する力を付ける。
- (ウ) 多様な文化を尊重し、世界の人々と協調し、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育てる。

## オ 『信頼される教育』（社会に開かれた教育課程の実現）

- (ア) 教育活動を更に精選するとともに、教員の働き方改革を推進することで、教育の質を一層高める。
- (イ) コミュニティ・スクールを基盤に、学校・家庭・地域が相互理解・連携する学校づくりを推進する。
- (ウ) 学年・学級間で協働し、多面的な理解と関わりを深め、全教員がチームで指導と責任を共有する。
- (エ) 安全を全てに優先させ、安全管理・危機管理を徹底し、安全で安心な学校生活を保障する。
- (オ) 一人1台の端末やオンライン機能を活用して、学校・児童・家庭・地域とのつながりを豊かにする。
- (カ) 障害のある児童の自立や社会参加に向けた視点に立った指導及び支援、合理的配慮に努める。
- (キ) 児童の居場所づくりなど、不登校等、悩みを抱えない心に寄り添う相談体制を構築する。
- (ク) 学校いじめ防止基本方針に基づき、学校いじめ対策委員会を中心に組織的・具体的に取り組む。
- (ケ) SOSの出し方に関する授業を実施するなど、自殺防止の具体的な学習・方策に取り組む。
- (コ) 学校評価の結果を生かしたカリキュラム・マネジメントにより教科等横断的な学びを充実させる。
- (サ) 幼保小中の円滑な接続と連携を目指したスタートカリキュラム、小中連携教育を推進する。
- (シ) キャリア・パスポートを活用し、一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた活動を推進する。